

学校支援を積極的に進めよう

～想いを形に すべては子どもたちのために～

豊川市立小坂井中学校 P T A

1 学校と校区の概要

小坂井中学校は、戦後混乱期の昭和22年4月、旧宝飯郡小坂井町に新制中学校として開校し、全校の生徒数は594名、平成29年1月には70周年を迎える歴史ある中学校です。

校区は、古くから鉄道交通に恵まれた都市近郊の町として発展を続け、狭小な区域内に鉄道が4路線、国道が2本貫き、人口密度の高さは県内でも有数となっています。

本校では、校訓「自主」の実現をめざし、「誓いの言葉」で自らの生活を律することのできる生徒の育成に日々取り組んでおり、「明るく楽しい学校」、「力をつける学校」及び「信頼される学校」の3つを目標として、生徒たちは笑顔に満ちた学校生活を送っています。

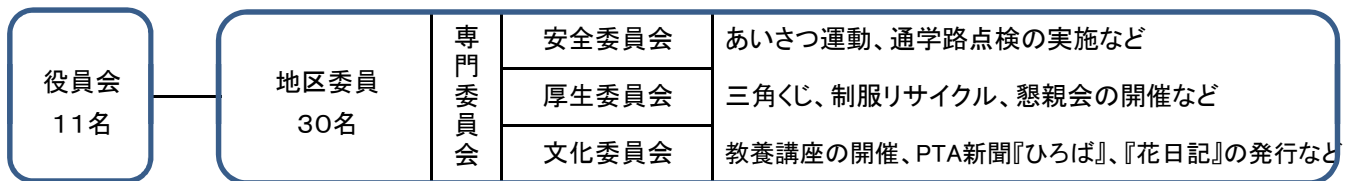
誓いの言葉

- 1 私たちは どんなにつらくてもどんなに苦しくても 決して希望を捨てません
- 2 私たちは あたたかい友情とよりよい環境を みんなでつくります
- 3 私たちは いつも明るい美しい心を 悪に負けない強い心をつくります

2 PTA活動組織と研究テーマ

(1) PTA活動組織

本校PTAの活動組織は、下記のとおりPTA本部役員と地区から選出された委員で構成され、専門委員会として、安全委員会、厚生委員会及び文化委員会の3つの部会に分かれて活動しています。



(2) 研究テーマへの取組

『想いを形に 子どもたちのやってみたい気持ちを応援しよう』を本年度の本校PTAスローガンとして、『学校支援を積極的にすすめよう』という研究テーマに取り組んできました。

様々な活動の中でも特に重点を置いて取り組んだこととしては、本校の課題である生徒の読書離れをどう食い止めるか、そのためにPTAとして何ができるのかという点であります。生徒たちに、いかに素晴らしい本に触れてもらうか、いかに読書に興味をもってもらうか、学校とPTA共通の強い想いが、坂想文庫（PTA文庫）の開設へとつながりました。

他にも、三角くじの販売やオリジナルタオルの販売、生徒たちの奉仕活動の際に豚汁を振る舞うなど多岐に渡る活動を通して学校支援を“熱く”進めています。

3 主な実践活動

(1) 坂想文庫の開設



平成27年度における全国学力状況調査の結果、本校生徒の家庭における読書時間が愛知県及び全国平均よりも少ないことが顕著に現れました。

このような状況を打開するため、PTAとして何かできることをしたい、そのような想いで平成28年度から新たな取組として、子どもたちを想い、想いを伝えるための坂想文庫を開設することとなりました。保護者、地域住民及び教師からの寄贈により集められた有益な本を、生徒が自由に借りられるスタイルの坂想文庫がこうしてスタートしました。

坂中生の皆さんへ

この本は、私が中学2年生の時に読んで非常に感銘を受けた本です。

苦しみながら必死に生きていく主人公の姿に勇気づけられ、何事もあきらめずがんばってこうと思わせてくれた本です。ぜひ坂中生の皆さんに読んでいただきたいお薦めの一冊です。

3年生保護者より

坂中生にメッセージカードを添えた本を贈ることを通して、保護者としてまた人生の先輩としての「想い」を「形」にして伝えることを願い、「坂想文庫」と名付けました。

メッセージカードには、その本を推薦する理由、その本に込める想いや願いが寄贈者自身のことばで書かれており、生徒たちの興味をそそり、読書に取り組む意欲を大いに喚起しているものと思います。



(2) 三角くじの販売

毎年、校区の皆さんに呼びかけて集められた寄贈品を「景品」とした「三角くじ」を販売し、それにより得られた収益金を生徒にとって最も有意義な活動の一つである部活動の支援等に充てています。

寄贈の呼びかけから始まり、生徒の協力による寄贈品の回収、集まった膨大な寄贈品の検品、景品としての価値を生み出すラッピング、三角くじと景品との引き換えに至るまで、多くの皆さんの「協力」と「労力」により成り立っており、強い“絆”を感じる活動でもあります。

(3) オリジナルタオルの販売

生徒たちの小坂井中学校の一員としての自覚を高め、愛校心を養うことをねらいとして、学校名入りのオリジナルタオルを作成し、販売しています。販売による収益金については、PTA特別会計に計上し、主に部活動の支援等に充てています。

デザインは2パターン、全8色という豊富なラインナップを取り揃えており、生徒から父兄に至るまで好評を博しています。普段使いから、体育大会でクラス毎チームカラーのタオルを買え揃えたり、部活動で使用するために購入するなど、年間700本以上の売り上げを誇っています。オリジナルタオルは、各クラスの一体感の醸成、部活動におけるチームワークの向上等にも一役買っており、私どもPTAが自信をもってお勧めする一品でもあります。



(4) その他、坂中のための活動

ア PTA井戸端会の開催（9月）

保護者のPTA活動に対する理解を深め、保護者との交流を図るための井戸端会（座談会）を開催

イ 制服のリサイクル販売（11月）

サイズアップ等により着用できなくなった制服を集め、購入を希望する保護者等に販売

ウ 体育大会写真の販売（12月）

体育大会でキラキラ輝く生徒の姿を写真に収め、購入を希望する保護者等に販売

エ 給食懇談会の開催（1月）

学校給食に対する理解を深める機会として、実際に生徒と同じ給食を食べて語らう懇談会を開催

オ 3年生奉仕活動における豚汁作り（2月）

奉仕活動を頑張った3年生にねぎらいを込めて、愛情と栄養がいっぱい詰まった豚汁を振る舞う

カ 地震等の災害義援金活動（随時）

PTAとして災害義援金等募金活動を実施し、被災地に義援金を送金する



4 終わりに

今回、「坂想文庫」という新たな取組を主に学校支援を進めてきました。始まったばかりですので、蔵書はまだまだ少ないですが、この取組の趣旨を一人でも多くの皆さんにご理解いただき、今後継続してPR等に努め、PTAとして読書に親しめる環境づくりを支援していきたいと思っております。また、各種活動についても生徒にとってより実りあるものとなるよう、さらに追及をしていきたいと思っております。

私たちPTAと学校の「想い」が次代を担う生徒たちに届くよう、地域、学校と連携し、PTAとしてできる限りの支援を続けていくことを誓い、結びとさせていただきます。